



町長へ抱負を語りました

## 天心館(相撲)東北大会へ

町内で活動している天心館の子どもたちが、それぞれ出場した大会での成績報告のため、町長室を訪れました。

8/3

このうち、修道小学校高学年団体チームは、8月20日に開催される東北大会へ駒を進めており、子どもたちは「去年は雨の影響で出場できなかったので、今年は勝ち星をあげたい」「1戦1戦頑張って勝ちたい」と目標を話しました。

子どもたちを指導している七戸達也さんは「東北大会、全国大会と勝ち上がって部屋の名前、深浦町の名前を全国に響かせたい」と意気込みを語っていました。

## ブラデュー弘前FCサッカー教室inふかうら

総合型地域スポーツクラブ「JoySpo!ふかうら」主催のサッカー教室が、深浦小学校で開催されました。教室には町内だけでなく、鱈ヶ沢町や弘前市などの周辺市町村の子どもたちも参加し小中学生33人が集まりました。

8/5

教室では東北社会人サッカーリーグ1部で活躍しているブランデュー弘前FCの姜(カン)コーチと根本選手、井上選手、小野選手が来てくれました。子どもたちは、シュート、ドリブル、パスなどの基礎を教わった後、3つのチームに分かれてコーチ、選手と試合を楽しみ、選手たちのレベルの高いプレーを実際に体感していました。



選手、コーチと記念撮影



海上保安庁の制服を着てうみまると記念撮影をする来場者

## 鱸作埼灯台を一般公開

8/12

青森海上保安部が「深浦町海上花火大会」の開催に併せて、地域のシンボルである鱸作埼灯台を1日限定で一般公開し、町内外から100人以上の方が来場しました。来場者は、普段見ることのできない灯台の内部の見学や、灯台のてっぺんから絶景の日本海を眺めました。

また、子ども限定で海上保安庁のイメージキャラクターであるうみまるとのグッズなどが当たるガチャや海上保安庁の制服の試着なども行っており、来場者の方は制服を着て記念撮影をしていました。

## お盆の風物詩

8/13

正久地区と大間越地区で「獅子舞」が行われました。平成7年に県の無形民俗文化財に指定された獅子舞は、地域の住民にとってお盆の風物詩となっています。

このうち正久地区では、獅子舞保存会のほか地域の小中学生も参加し、高倉八幡神社を皮切りに久田のお墓と正道尻のお墓の3か所で獅子舞を披露しました。獅子舞を一目見ようと集まった地域住民らは伝統の舞を大いに楽しみました。



正久地区の獅子舞

# まちかど

# ウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町総合戦略課 企画調整係  
電話 74-2122

## 木製ベンチが寄贈されました

8/1

青森県西部郵便局長会西津軽部会から十二湖地内に設置してくださいと木製ベンチが町に寄贈されました。これは、白山山地世界遺産登録30周年の記念の年であることから、十二湖森の会からアドバイスを受けて、観光客など十二湖を訪れた人が休憩できるようベンチを寄贈することになったものです。

寄贈されたベンチはヒバ材で作られており、全部で4基。お盆過ぎに十二湖青池付近へ設置されました。



目録を手渡す青森県西部郵便局長会西津軽部会のみなさん

## 令和4年8月の大雨災害に対する寄附金をいただきました

8/1

深浦会東京から深浦町へ令和4年8月の大雨災害に対する寄附金を贈呈しました。

これは、首都圏で暮らしている深浦町出身者で構成されている深浦会東京の会員の方たちが、令和4年8月の大雨災害で被害を受けた故郷深浦町のために寄附金を募ったものです。

西崎会長から目録を受け取った吉田町長は「深浦会の方たちの心温まる思いを届けていただきました。本当にありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。



吉田町長へ目録を渡す深浦会東京：西崎修治会長

## 見て触れて楽しむ!アドベンチャーキャンプ

8/2~3

子どもたちが親元を離れ、自然と触れ合いながら普段はできない体験をするアドベンチャーキャンプが開催されました。今年は数年ぶりに1泊2日の日程で行われ、町内の小学生24人が参加しました。

初日、子どもたちは班ごとに自分たちの泊まるテントの設営や夕食の食材をかけた自分で制作したゴムパチンコでの的あて大会などを行いました。2日目は、それぞれの班に分かれて火起こし体験やモルック大会などを体験しました。

2日間にわたって子どもたちはそれぞれの班で協力しながら楽しそうに笑顔で活動していました。



2日間一緒に過ごした仲間と記念撮影